

# 問 休有地の活用を

## 答 最善策を選択

西森

白河瀬地区には旧保育園跡地などの休有地が3ヶ所ある。精華地区の要望として若者住宅を建設して欲しいとの声がある。若者向け住宅を早急に具体化して建設すべきではないか。

池田町長

旧葉山保育園跡地は(株)万代の元社長下元慶郎氏より教育振興に長年ご寄付をいただいたしており、幅広い世代が交流する憩いの場としての集落活動センターのような施設の要望を伺い保留している。ひのきの里と勤労者体育館との間の空き地は、杉ノ川分団の屯所の移転先として適地と考えている。旧幼稚園跡地は山が迫っており宅地には適さない。民間企業から建物の賃貸の要望や取り壊して分譲という案も町にはある。協議を重

ねながら最善策を選択していく。公営住宅は永住には結びつきにくく、分譲がベストと思っている。民間情報の現状を聞くと、やはり東地区に需要が高い。立地条件を含め効果的な定住策を探っていく。



旧葉山幼稚園

### 議会傍聴記

新土居 石川寿朗

以前から議員の熱心なお誘いもあり、津野町議会六月定例会を傍聴させて頂いた。

まず、私事で恐縮だが、私は役場に四十年余り奉職してきたが途中、体調を崩し仕事を得ず定年前に退職した。役場在職中には、町民の皆様は大変お世話になり感謝申し上げます。また、職員の皆様には何かと助けられ、お陰で日々充実した職員生活を送らせて頂いた事に深く感謝申し上げます。

さて、私が三年間、議会事務局長を勤めてきた経験から、今回の傍聴の感想を書きたいと思う。

議会傍聴当日は、議員の質問に期待しつつ、議場の傍聴席に座り、議員の質問を書いている通告書のコピーを拝見したが、何と質問者は二人。休憩をはさみ僅か二時間足らずで閉会した。何と寂しい。非常に失望させられた。平成二十八年度、最初の町議会定

例会の一般質問である。

当然、議会の一般質問は、議員しかできない特権であり公的質問の場である。一言一句議事録にも残る。町民の代弁や自身の日頃の疑問など、町執行部に問う絶好の機会である。しかもチャンスは年四回しか無い。

現在の議員定数は削減され十人となり、議員は多くの有権者の支持を得て当選されている。支持者のエリアも広がり、様々な質問や課題となる材料が地域に潜んでいる事と察する。選挙時の公約や町民の負託に応えるためにも、議員は議会での発言責任をしっかりと果たして欲しいと思う。

しかし、お二人の議員の厳しい質問に対し、町執行部の新しい課長がよく勉強されていて、テキパキと答弁され非常に感心させられた。一方、池田町長の存在感が薄く、課長に答弁を多くさせていると感じた。議員は、町長に答弁を求めている。質問の通告書にも(町長)にと書いている。町長は、課長答弁の全責任を取るのだろうか？

また町長は、町執行部が答弁する場所に登壇せずに、自分で課長に指示し、答弁させている場面も見られた。そこは一旦登壇して、二言三言答弁し「なお、事務的詳細については〇〇課長に答弁させます。」というのならまだ納得できる。登壇しないことは質問席にいる議員にも失礼だと思ふ。

自治体の首長答弁は、自分の考えを公的に伝える絶好の機会である。就任して七年目の町長自身が積極的に答弁して、自分の考えを述べるべきだと思ふ。

今回の議会定例会からは、会期を充分とり、多くの議員が質問する事を期待する。議長に一つ提案したい。今後、議会開会の町内放送は「一般質問は〇人の議員が質問しますので多くの方の傍聴を・・・」と質問者数を加えて放送してみてもどうだろうか。

傍聴者が増えるかも？

議会だより編集委員会委員から、傍聴記を依頼された時は「元執行部であり、質問者も少ないので・・・。」とお断りしたが、ご丁寧な依頼の手紙を頂いたので一町民として率直な感想を書かせて頂いた。